

## 目的別ショートカットまとめ(第17回)

## 【ブラウザ編】リンクを新しいブラウザで開く

2022.10.19

この連載では、仕事で使える便利なショートカットキーを紹介していく。今回は、ブラウザ内に表示されたリンクを開く際、新しいブラウザやタブで開くショートカットキーを紹介しよう。

そのまま内容が変わる場合、元のページ残したままリンクを開きたい

なんらかのWeb文章を読んでいる際、そこにリンクが設定されていてそれを開きたい場合がある。その時、そのページがそのまま入れ替わる場合と新しいタブが開く場合がある。それは、Webページを作成するうえで、コードの記述方法によって異なる。



Click



Excelのハイパーリンクが勝手に設定されるのを防ぐ

時短エクセル(第39回)

Excelには、“よかれ”と思って勝手に機能を実行してくれることがある。例えば、http://から始まるURLを入力すると自動的にハイパーリンクが設定されたり、「IoT」と入力したいのに勝手に「IoT」と変換され表示されたりする。それが“お節介でイライラする”と感じるなら、これらの変更を簡単に元に戻す方法や機能をオフにする設定を覚えておこう。

今回は、「ハイパーリンクが勝手に設定されるのを防ぐ」方法を紹介しよう。併せて、一時的にハイパーリンクを無効にする設定も紹介する。

URLを入力するとハイパーリンクが設定されるのが初期設定

初期設定では、URLやメールアドレスを入力すると自動的にハイパーリンクが設定され、クリックすると、そのページの内容が入れ替わる場合がある

しかし、ユーザーにとっては、「元資料を残したままリンク先を見たい」という場合もあるだろう。そういう場合はクリックする際にショートカットキーを使おう。これによって別タブや別ウインドウで開くことができるようになる。



Ctrl

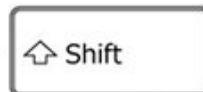


## 別ウインドウで開く方法

上記の場合、あくまでもメインウインドウは最初にかいていたページとなり、新しく開いたページを確認するにはタブをクリックする必要がある。そこで、次は新しいウインドウで開く方法を紹介する。



⇧ Click + ⇧ Shift







「Shift」キーを使うと、新しいウインドウが起動してそこにリンク先のページが読み込まれる。少しだけ裏に見えているのが、元のウインドウだ。

筆者のイチオシは「Ctrl」＋「Shift」を押す方法… 続きを読む